

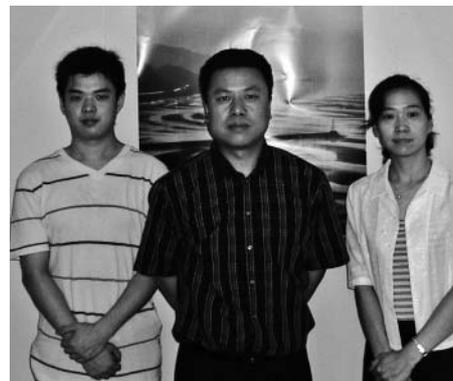
大分市武漢友好都市市民交流拠点レポート

「武漢熱線 Wu-han Hot Line」は、「上海熱線」シリーズに加えて、大分市 - 武漢市の経済交流事業などについてシリーズで情報をお伝えするコーナーです。

大分市武漢友好都市市民交流拠点は、中国武漢市における大分市の常設事務所として、平成18年5月1日に業務を開始いたしました。主な業務は、大分市の都市・観光情報の発信、武漢市の都市情報の収集、市民交流（文化芸術、青少年、学術、ビジネスチャンス、農業等分野）のサポートや観光客、修学旅行生の誘致等です。

この2ヶ月間に、大分市から5団体を受入れたほか、2企業のビジネスサポート、3団体の市民交流サポートを行っています。この他に3社の県内企業が本交流拠点を訪問されました。また、武漢市情報も随時発信しているところです。

第1回目は、スタッフの紹介をさせていただきます。3人とも日本語が堪能です。武漢で皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



左から徐耕、盧峰、全淑麗

担当役員：盧峰（ロ ホウ）

（武漢市国際交流サービスセンター副総経理兼務）男性

1986年 1990年 北京外国語大学日本語学部卒業

1990年 - 2004年 武漢市人民政府外事弁公室勤務

（内1年間、福島県庁国際交流員として勤務）

2004年 今迄 武漢市国際交流サービスセンター副総経理

スタッフ 徐耕（ジョ コウ）男性

1999年 2004年 日本愛知文教大学国際文化専攻卒業

2005年1月 2005年7月 東風本田自動車有限会社

2005年8月 2006年12月 大福輸送機（広州）有限会社

2006年5月 大分市武漢友好都市市民交流拠点

全淑麗（ゼン シュクレイ）女性

1993年 1997年 湖北大学日本語学部卒業

1998年 2006年 新日本製鐵株式会社武漢事務所ほか日系企業

1998年3月 2005年12月 武漢日本商工クラブ事務局担当

2006年6月 大分市武漢友好都市市民交流拠点



パンフレットなどを展示しているオフィス

スタッフ後記

武漢市でも、6月になってから、武漢の気温のように、ワールドカップ熱が、日を追うごとに盛り上がってきています。バーやナイトクラブで友達同士お酒を飲みながら一緒に試合観戦するのが流行っています。こんなことから、今、睡眠不足の男性が増えています。



交流拠点内の会議室